

2024年7月29日

神戸市交通事業管理者
城南 雅 一様

神戸交通労働組合
執行委員長 五百旗頭 英



労働条件・職場環境の改善、予算確保に関する要請書

日頃から、職員の労働条件や職場環境の改善をはじめ、労働安全衛生の確立に向けてご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に5類へ移行されてから、国内外問わず観光客などで賑わい、街中も活気を戻しています。しかし、最近では第11波の感染が拡大しつつあり、私たち市バス・地下鉄職員は、市民・利用者はもちろんのこと、職員や家族の命と健康を守るため、感染防止に努めながら、日夜、職務にあたっています。

また、市バス・地下鉄の乗客数や乗車料収入は、依然としてコロナ前の水準までは戻っておらず、厳しい状況におかれています。

これらを踏まえ、私たち職員の生活や健康を守るため、労働条件や職場環境の改善を図るとともに、市バス・地下鉄を市営交通として維持・存続させるための予算確保にむけ、下記のとおり申し入れますので、最大限の配慮をお願い申し上げます。

記

1. 「神戸市交通事業審議会の答申」に関連する事項について

(1) 「交通局 人事・給与制度改革」について

「交通局 人事・給与制度改革」を実施するにあたり、公正・公平かつ正確な人事評価を行うよう管理職を育成すること。

また、職員のモチベーションを維持するため、現業職給料表5級の昇格基準を検討すること。

(2) 人材の確保・育成について

年齢要件の緩和や大型二種免許の未保有者、女性運転手の採用など、門戸を広げ人材を確保するだけでなく、採用時以降の職員の雇用に責任を持ち、十分な研修を実施するなど、トータル的な人材の確保・育成に努めること。

(3) 経費の削減策について

経費の削減策として、市バス営業所の委託費用や地下鉄の更新工事費用など、更なる効率的な運営を行うため、見直し等も含め検討を行うこと。

(4) 運賃・割引制度の見直しについて

路線バスや鉄道には「サーチャージ」はなく、燃料費や人件費の上昇分は、

経営努力のみで対応することとなっていることから、バリアフリー料金制度などの各種制度導入を行いながら適正な料金となるよう改定を行うこと。

また、運賃の各種割引制度については、安易な割引を実施することなく、公平性の観点、適正な負担という観点から、各種割引による効果をしっかりと検証し必要な見直しを行うこと。

(5) 公営の意義と公費負担のあり方について

公営企業としての役割を果たすためにも、公費負担を行うべき支援対象路線を見直し、神戸市に対して「経営改善促進補助金」の増額を求めること

また、「特別減収対策企業債」の償還に関しても、神戸市からの補助の拡充を求めること。

2. 局採用職員の給与カットの見直し

昨今の原油高、円安による物価高騰などに加え、交通局採用職員は10%の給与カットが行われており、実質賃金は大幅にマイナスとなり、職員の生活は極めて厳しい状況です。実質賃金の改善と安定的な人材確保の観点から、交通局採用職員の給与カットについて見直すこと。

3. 北神線の直営化と西神・山手線のワンマン化について

北神線の直営化と西神・山手線のワンマン化について、これまでの間、幾度となく労使交渉の場を設けるよう申し入れてきたが、北神線の直営化に関しては、運用開始直前での提案であり、それ以外にもさまざまな不備があり、現場に混乱を招いていた。このことを踏まえ、西神・山手線のワンマン化を実施するのであれば、その詳細内容を早急に提示すること。

4. 定年延長について

2024年4月から定年延長が実施されているが、加齢に伴う身体的機能の低下が職務遂行に支障をきたす職種については、職務の見直し・配置転換など、誰もが安心して働き続けられるための環境整備に努めること。

また、暫定再任用職員の給与について、統一した格付けとなるよう検討すること。

5. 36協定の遵守と改善基準告示について

全職場において、36協定の遵守を徹底すること。また、改善基準告示については、安全・安心な運行を第一に考え、十分な睡眠時間を確保するための休息时间となるよう努力すること。

6. バスターミナル整備と市バス路線について

三宮駅バスターミナルについては、中・長距離バスの発着だけでなく、市民の生活路線としての市バス路線も対応できるように調整すること。

以上